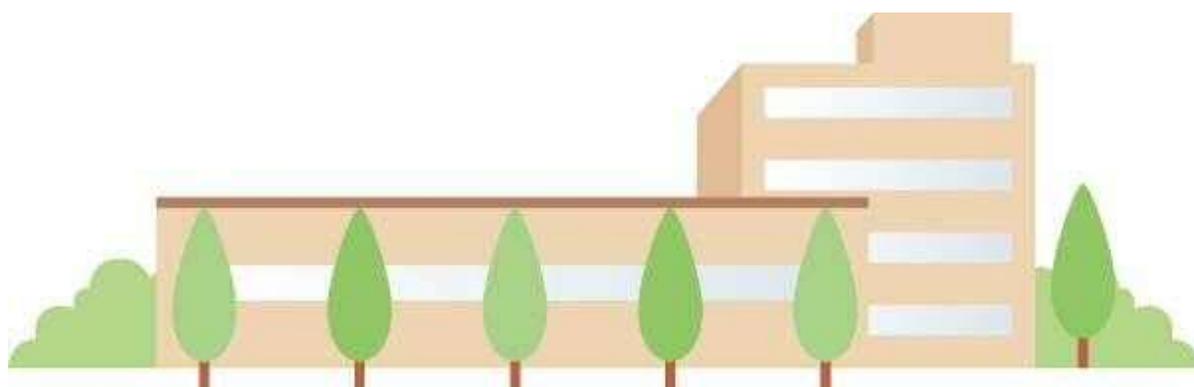


平成 30 年度生涯学習事業報告

平成31年度生涯学習事業計画



市民部 創造都市・文化振興課

中区・西区・北区・浜北区・天竜区 まちづくり推進課

東区・南区 区民生活課

平成30年度事業報告

【 中 】区

区 の 重 点	地域と人とのつながりを生かした生涯学習の充実 ○地域の特性に応じて学習ニーズに応えられる、「地域の学習の場として」の学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○「地域の学習拠点」として、地域住民・学校の協力により事業を進め、人づくり・まちづくりの機能充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(3) ○地域と協働し、地域づくり・地域課題解決に取り組みます。 【大綱との関連】基本方向2-(1) ○地域において生涯学習を推進していくために、人材を発掘し、育成に努めます。 【大綱との関連】基本方向2-(2)				
	浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	区の重点	
	めざす都市像	基本方向	推進項目		
	「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○ユニバーサルデザイン化を推進するため、エレベーターや授乳室の新設、多目的トイレや手すりの改修を行いました。 ○施設利用者の安全確保のため、ホールの吊り天井落下防止対策工事を行いました。(北部協働センター)	
いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり			(2) 学習情報と学習機会の充実	○地域の特性を生かして、多様なニーズに応じていく講座を開催することに努めました。 ○開催する講座の内容を、地域内の文書回覧とあわせてホームページで告知し、講座情報を広く発信することに努めました。(高台協働センター、中部協働センター)	○
			(3) 学習環境の向上	○市民の学習ニーズ及び時代の進展に即した学習機会の提供の一環として、県西部8大学9学部の協力を得て、第26回市民アカデミーを開催しました。(まちづくり推進課) ○学習成果活用事業などの講座の開催を通して、利用者が自主的に活動する同好会等の結成を支援し、あわせて協働センターを利用する既存の団体の活動を支援しました。 ○地域の学習拠点として地域特有のコンテンツを生かす目的で、地域づくり講座において地場産品を使用した料理教室を開催しました。(南部協働センター) ○地域内の外国人児童が言葉や習慣の壁を乗り越えて安心して学べるように、夏休み期間を利用して小学校及びボランティア団体等と協働して学習支援を行いました。(佐鳴台協働センター)	○
基本方向 2		学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○地域団体や学校と連携し、学習成果を発表する機会を充実させることを目指して、協働センターまつりなどの地域ふれあい事業を実施しました。 ○協働センターの新たな試みとして、婚活イベントを6月と9月の2回にわたり実施しました。(東部協働センター) ○地域の団体と協働して、地域の人材を活用した「まちなか異文化体験講座」を実施しました。(中部協働センター)	○
			(2) 人材の育成	○協働センターのイベント事業などを通して小中学生ボランティアを募集し、ともに活動することにより地域コミュニティの活性化に努めました。また浜松市と大学との連携事業を活用し、大学生にもイベント事業に参画してもらうことで、若いリーダーやボランティアの養成を図りました。 ○協働センターで行うイベントの運営に携わりながら、将来地域で活躍できる人材の育成を目的として、小中学生を対象とした子どもボランティア育成事業を開催しました。(富塚協働センター)	○
◆成果 ◆課題		◇協働センターまつりなどの地域ふれあい事業を中心に、地域各種団体や学生ボランティアの協力を取り込んだイベント等を実施することができた。 ◇地域の特性を理解し、地域の持つ課題やコンテンツを意識した講座・イベントを行うことができた。 ◆協働センターにおいて開催する講座は、新規の受講者(成年層や男性など)獲得を目的とした内容を企画するとともに、新たな情報発信や周知方法を検討する必要がある。 ◆地域活動団体を構成する利用者の高齢化による、協働センターの利用減少を防ぐため、地域活動団体の紹介や活動内容のPRを各種媒体を通して積極的に行う必要がある。			

平成31年度事業計画

【 中 】区

区 の 重 点	<p>多様な出会いとふれあいがつくる人の和を生かし、豊かな地域社会の創造に取り組みます。</p> <p>○地域のコンテンツや課題を意識した「地域の学習の場」としての学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2)</p> <p>○地域住民や学校との協働により事業を進め、「地域コミュニティの拠点」として人づくり・まちづくりの機能充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(3)</p> <p>○生涯学習推進のため、地域の学習リーダーが活躍する場を確保するとともに、ボランティアの活動を助長し、地域の人材の育成に努めます。 【大綱との関連】基本方向2-(2)</p>
----------------------------	---

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○協働センターを訪れた方が安全かつ快適に利用できる施設となるように、利用者の声を聞き取り、施設の維持管理と整備に努めます。 <u>○ユニバーサルデザイン化を推進するため、授乳室や身障者専用駐車スペースのカーポート新設、多目的トイレや手すりの改修を行います。(西部協働センター)</u>	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○地域の特性を理解し、若者や男性などを対象とした講座を充実させるとともに、託児等の環境を整備して新たな受講者層の拡大を目指します。 ○協働センターで実施する講座やイベントの情報を広く周知させるため、報道機関への情報提供や各種媒体を利用した広報活動を積極的に行います。 <u>○託児サービス付きの講座を実施することで、若年層を含む幅広い年代の方がより一層受講しやすい環境を整えます。(曳馬協働センター)</u>	○
		(3) 学習環境の向上	○地域の学習拠点として、地域の特性やコンテンツを理解し、地域のニーズに応じた講座を開催します。 ○地域ふれあい事業(子どもフェスタ、センターまつり等)を地域団体や地域住民と協働で取り組みます。 <u>○近隣小学校から協働センターを訪問する児童に対して、浜松出身の高柳健次郎先生によるテレビジョン研究や発祥の地記念碑について紹介し、この地でテレビが発明され世界に広まっていったことを伝承していくように努めていきます。(西部協働センター)</u>	
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりなどの地域ふれあい事業において、地域活動団体や学校が日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表、コンサート、団体活動の紹介を行います。 ○浜松市と大学との連携事業を通して、大学で学ぶ専門性を大学生が主体となって地域に還元するとともに、大学と協働センターがつながるきっかけをつくることで、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを推進します。 <u>○センター事業の試みとして、昨年に引き続き10月に婚活イベントを開催し、地域の活性化を図ります。(東部協働センター)</u>	○
	学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(2) 人材の育成	○中学生ボランティアを協働センターのイベント事業に主体的に参画させることで、将来の地域の担い手となる人材育成を図ります。 ○学習成果活用事業を実施する個人や団体に対し、積極的に協力・支援をしていくことにより、新たな地域の学習リーダーの育成を進めます。 <u>○地元中学生ボランティアが、8月に開催される「北部ジュニア公民館(子供版協働センターまつり)」の企画立案及び運営に主体的に携わることで、ボランティアの実践経験を積む機会を提供します。(北部協働センター)</u>	○

平成30年度事業報告

【 東 】 区

区 の 重 点	新たな人の和と多様な出会いが生まれるまちを目指して、地域の人材をはぐくむ機会の提供と環境の整備に取り組めます。 ○活力にあふれ、特色あるまちづくりの中心となる地域の人材の育成に努めます。 【大綱との関連】 基本方向2-（2） ○地域の生涯学習の拠点であり、人材の育成と活躍の場でもある協働センターの整備と改修に取り組めます。 【大綱との関連】 基本方向1-（1） ○住民の交流や相互の啓発による地域の活性化を目指して、地域の学習拠点となる環境づくりに努めます。 【大綱との関連】 基本方向1-（3）		
	浜松市生涯学習推進大綱		
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	区重点 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)		
	区重点 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)		
めざす都市像	基本方向 1 いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	主な取り組み ○ユニバーサルデザイン化及び施設の長寿命化を図るため、 <u>授乳室の設置、多目的トイレ・手摺の改修、体育館の外壁工事等を行いました。(蒲協働センター)</u> ○雨天時に滑りやすく、転倒のおそれがある体育館への渡り廊下タイルについて取替工事を行いました。(積志協働センター) ○たよりによる活動団体紹介や活動の支援、様々な世代に向けた講座の開催などの取り組みにより、施設利用率の向上を図りました。 ○交通安全指導員による高齢者向け交通安全教室の開講(笠井協働センター)や、地域住民による危険箇所の点検運動の実施(積志協働センター、蒲協働センター)を通じて、東区の課題である交通安全の啓発に努めました。 ○人づくり、まちづくりの拠点としての機能を充実させるため、学習成果の発揮と住民交流の機会として、協働センターまつり等の地域ふれあい事業を開催しました。 ○ <u>学習ニーズの高い地域の歴史に関する講座を企画し、開催しました。(積志協働センター、長上協働センター)</u> ○地域の中ノ町環境保全会が講師となり、天竜区内の団体と連携をするなかで、耕作放棄地で栽培した地元産の信州そば粉を使用した「そば打ち体験教室」を開催しました。(天竜協働センター)	○
	基本方向 2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組づくり	(1) 施設の整備 (2) 学習情報と学習機会の充実 (3) 学習環境の向上	○
		(1) 学習成果を発揮する機会の充実 (2) 人材の育成	○
		○協働センターまつりでは、展示や演技発表などで日頃の学習成果を発揮してもらうとともに、地域づくりの一助となるよう企画や準備から団体やボランティアの参加を呼び掛けました。 ○学習成果活用事業では、加工食品でなく、旬の食材を使ったおかず作りの調理実習を行い、各家庭でも実践していただくことで家族の健康を目指す「満福食堂」(長上協働センター)や、子どもから大人まで楽しめるフラワーアレンジメントやものづくりを行う「わいわい広場」(積志協働センター)を実施しました。 ○ <u>浜松市と大学との連携事業を活用して地域に新しい風を呼び込み、若いリーダーやボランティアの養成を図りました。</u> ○学習成果事業の中で、将来、地域で活躍できる人材の育成を目的として、地域活動団体が講師となって中学生ボランティアを育成する「リーダーカレッジ」を開催しました。(蒲協働センター) ○人生80年代を迎え、一般社会人を対象とし、人間として市民としての教養の向上や健康で豊かな生活を目指し、創造性豊かで活力ある社会の建設を目的とし、全10回にかけて、ヒューマンセミナーを実施しました。(笠井協働センター)	○
◆成果	◇地域人材を活用した講座や各種団体等と連携・協力したイベントを多く企画し、地域に根差した充実した内容を多く提供することができた。 ◇中学生ボランティアの活用や大学生による講座に積極的に取り組み、将来的にボランティア候補や地域のリーダーを養成する若い力を生かした事業の充実や改善につなげることができた。		
◆課題	◆地域活動団体の高齢化に伴う、世代間交流を視野に入れた新たな人材の発掘・育成。 ◆協働センター利用率向上のため、新たな受講者の獲得、及び、受講者層の拡大(若年層や成年層、男性等)のための、講座内容や周知方法の見直し。		

平成31年度事業計画

【 東 】区

区 の 重 点	新たな人の和と多様な出会いが生まれるまちを目指して、地域の人材をはぐくむ機会の提供と環境の整備に取り組めます。
	○活力にあふれ、特色あるまちづくりの中心となる地域の人材の育成に努めます。 【大綱との関連】 基本方向2-(2)
	○地域の生涯学習の拠点であり、人材の育成と活躍の場でもある協働センターの整備と改修に取り組めます。 【大綱との関連】 基本方向1-(1)
	○住民の交流や相互の啓発による地域の活性化を目指して、地域の学習拠点となる環境づくりに努めます。 【大綱との関連】 基本方向1-(3)

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1 いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○点検に基づく不具合の修繕のほか、利用者の要望を聞き取り、より使いやすい施設になるための計画的な改修を行います。 ○ユニバーサルデザイン化及び施設の長寿命化を図るため、エレベーター・授乳室新設、トイレの段差解消、協働センターと体育館の壁面塗装工事を行います。(笠井協働センター)	○
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○たよりによる活動団体紹介や活動の支援、様々な世代に向けた講座の開催などの取り組みにより、施設使用率の向上を図ります。 ○講師として動物園の職員を招き、動物園の仕事の説明や小動物とのふれあいを体験できる子ども講座を実施します。(天竜協働センター)	
		(3) 学習環境の向上	○人づくり、まちづくりの拠点としての機能を充実させるため、学習成果の発揮と住民交流の機会として、協働センターまつり等の地域ふれあい事業を開催します。 ○地域の楽団・積志ウインドアンサンブルと小・中学生による「ふれあいコンサート」を開催し、子どもたちが音楽に触れる機会を提供します。(積志協働センター) ○地域の中ノ町環境保全会が講師となり、天竜区内の団体と連携をするなかで、耕作放棄地で栽培した地元産の信州そば粉を使用した「そば打ち体験教室」を開催します。(天竜協働センター)	○
	基本方向 2 学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりでは、展示や演技発表などで日頃の学習成果を発揮してもらうとともに、地域づくりの一助となるよう企画や準備から団体やボランティアの参加を呼び掛けます。 ○健康寿命の延伸とともに、和田・中ノ町地区の地域交流を通して、地域内の東西軸のつながりを築く「リアル野球盤 健康長寿」を実施します。(天竜協働センター)	
		(2) 人材の育成	○大学との連携事業を活用して地域に新しい風を呼び込み、若いリーダーやボランティアの養成を図ります。 ○2団体による学習成果活用事業の実施により、各団体の人材育成を実践するとともに、センターまつりでの作品展示等を通じて、その成果を発信していきます。(天竜協働センター)	○
			○中学生に協力を依頼して、11月に開催される協働センターまつりのボランティア参加の呼びかけや中学生のボランティアが中心となって、協働センター周辺の草刈及び体育館清掃を行う「清掃奉仕活動」を実施します。(積志協働センター)	

平成30年度事業報告

【 西 】区

区 の 重 点	個性輝く心豊かなまちにふさわしい学習機会の充実と地域づくり意識の向上 ○ 地域の多様なニーズに応じた学習機会を充実させます。 【大綱との関連】 基本方向1-(2) ○ 地域の活性化やコミュニティの強化を図ります。 【大綱との関連】 基本方向1-(3) ○ 地域の特性を生かした講座を開催します。 【大綱との関連】 基本方向2-(1)			
	浜松市生涯学習推進大綱			
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1 いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	推進項目 (1) 施設の整備	主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	区重点
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○ユニバーサルデザイン化及び施設の長寿命化を図るため、エレベーター新設、外壁の防水工事等を行いました。	○
		(3) 学習環境の向上	○参加者の満足度が高い講座を開催し、ニーズに沿った学習内容を提供しました。 ○親子で地域の自然に触れる講座を開催し、地域への理解と愛着の醸成に寄与しました。(神久呂協働センター)	○
		(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターを利用する団体の活動を支援、継続的に活動できるように支援しました。 ○講座をきっかけに、同好会等の結成を支援し、自主的かつ継続的な活動の援助を行いました。(舞阪協働センター、雄踏協働センター)	○
	基本方向 2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(2) 人材の育成	○学習成果を発表する場の提供、地域住民のコミュニケーションの拠点として各種団体、学校等と連携を持ち、協働センターまつり等の地域ふれあい事業に取り組みました。 ○地域の団体や地元の生涯学習ボランティアが講師となり、子どもを対象とした講座を開催し、住民同士の世代間交流を図りました。(神久呂協働センター、和地協働センター、篠原協働センター)	○
			○協働センターまつり等に学生ボランティアを受け入れ、若者世代のボランティア人材を養成しました。 ○高校生を対象にこれからの社会に必要な国際理解の講座を開催し、将来のリーダー育成を図りました。(庄内協働センター)	○
◆成果・課題	◇多種多様な講座を開催し、充実した学習機会・内容を提供することができた。 ◇講座をきっかけに同好会が発足する等、仲間づくりの場として機能することができた。 ◆高齢化による、地域活動団体及び施設利用者数の減少への対応。 ◆人気の講座を積極的に取り入れる等、学習内容の見直し。			

平成31年度事業計画

【 西 】区

区 の 重 点	地域の住民同士をつなげる生涯学習の充実 ○地域の多様な人々に応じた学習機会を充実させます。 【大綱との関連】 基本方向1-(2) ○「地域の学習拠点」として、地域住民の協力により事業を進め、地域内・世代間の交流を推進します。 【大綱との関連】 基本方向1-(3)			
	浜松市生涯学習推進大綱		主な計画 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	区の重点
めざす 都市像	基本方向	推進項目		
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○不具合の随時修繕のほか、ユニバーサルデザイン化の推進等、より使いやすい施設になるための計画的な改修を行います。	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○地域の学習拠点としてニーズに応じた講座を提供します。 ○動物園の裏側を見ることができる講座を開催し、身近にある施設に改めて注目することで、地域に対する興味関心をはぐくみます。(庄内協働センター) ○託児サービス付きの講座を実施し、小さなお子様をお持ちの方も受講しやすい環境を整えます。(篠原協働センター)	○
		(3) 学習環境の向上	○親子で参加できる講座を開催し、子どものころから地域と関わることで、将来のコミュニティ活性化の基礎を築きます。(神久呂協働センター、雄踏協働センター) ○地域ふれあい事業(センターまつり、夏祭り等)を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みます。	○
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○浜松市と大学との連携事業を通して、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを推進します。 ○地域住民を講師に迎えるなど、地域の人材が持つ知識を地元で継承していきます。 ○協働センターまつりでは、地域活動団体等の日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表、コンサート等を行います。	
仕組みづくり	(2) 人材の育成	○学習成果活用事業を実施する個人や団体に対して、積極的に協力・支援していくことを通して、新たな人材の育成を推進します。 ○講座の助手などを体験してもらうことを通して、地域の生涯学習を担うボランティアを育成します。		

平成30年度事業報告

【 南 】 区

区 の 重 点	市民協働によるまちづくりの推進 ○区民がいいきと活躍する協働まちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-（2）、2-（1）、2-（2） ○様々な世代が快適に暮らせるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-（2）、1-（3）、2-（1） ○地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-（2）、1-（3）、2-（1）			
	浜松市生涯学習推進大綱			
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	めざす都市像	基本方向	推進項目	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	基本方向 1	(1) 施設の整備	主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名) ○ユニバーサルデザイン化を図るため、エレベーター及び授乳室、障がい者用駐車場の新設等を行いました。 ○市民が安全・快適に利用できるように環境整備を行うとともに、不具合が発生した場合は迅速に緊急修繕を実施しました。
		学習成果を適切に生かすことのできる	(2) 学習情報と学習機会の充実	○協働センターだよりを各戸配布又は回覧するほか、子ども講座は、区内小学校の協力を得て、直接、児童にチラシを配布し、より多くの子どもが参加しやすいようにしました。 ○ <u>協働センターまつりや天文台事業など広域対象事業の情報を【南区公式Facebook「みなみる」】で発信しました。</u> ○主に小学生を対象に、環境への意識を高める事業として「 <u>天童の森で山の恵みを感じてみよう</u> 」(全協働センター合同)、地域の文化・伝統への理解を深める事業として「 <u>秀吉、家康、直政ゆかりの松下屋敷跡啓発事業</u> 」(南陽協働センター)を実施しました。
			(3) 学習環境の向上	○協働センターで活動する団体を支援するとともに、協働センターが主催する講座を契機として受講生が同好会をつくり、活動するよう働きかけました。 ○ロビー等に同好会の絵画、工芸品、写真等を展示しました。
基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○ <u>学習成果を発表する場の提供、地域住民のコミュニケーションの拠点として各種団体、学校等と連携を持ち、協働センターまつりやふれあいコンサート等の地域ふれあい事業に取り組みました。</u> ○地域の人材を講師として活用した講座を実施しました。 ○世代間交流や地域コミュニティの活性化に寄与するために考案された南区発祥のオリジナルゲーム「サイコロダーツ」の普及に努めました。		
(2) 人材の育成	○ <u>協働センターまつりや成人式の運営等に小学生や中学生ボランティアを積極的に活用し、地域の生涯学習ボランティア活動を支援するとともに、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成を図りました。</u> ○生涯学習ボランティアが子供向け工作の研修を受講し、協働センターまつりで、「子ども工作教室」(新津・五島・南陽)「生涯学習体験教室」(可美)を実施しました。			
◆成果・課題	◇地域人材を活用した講座や各種団体等と連携・協力したイベントを多く企画し、地域に根差した内容を多く提供し、地域コミュニティの活性化を図ることができた。			
	◇小中学生ボランティアの活用や大学生による講座に積極的に取り組み、若い力を生かした事業の充実や世代間交流、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成につなげることができた。			
	◆世代間交流や地域課題への取り組みによる地域コミュニティの更なる活性化。			
	◆地域活動団体や講座受講生の高齢化に伴う、新たな人材の発掘・育成及び受講者層の拡大(若年層や成年層、男性等)のための、講座や周知方法の実施。			

平成31年度事業計画

【 南 】区

区 の 重 点		市民協働によるまちづくりの推進			
		<p>○区民がいいきと活躍する協働まちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)、2-(2)</p> <p>○様々な世代が快適に暮らせるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)</p> <p>○地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、1-(3)、2-(1)</p>			
めざす都市像		基本方向		主な計画	
めざす都市像		推進項目		○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「 楽しみ 」や「 生きがい 」が見つか るまち・浜松	基本方向 1	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○施設の長寿命化を図るため、屋上の防水改修工事、施設照明設備のLED化、外壁工事等を行います。	○
			(2) 学習情報と学習機会の充実	○市民が安全・快適に利用できるように環境整備を行うとともに、不具合が発生した場合は迅速に対処する緊急修繕を実施します。	
			(3) 学習環境の向上	○協働センターが主催する講座を契機として受講生が同好会をつくり、活動するよう働きかけます。 ○協働センターで活動する団体を支援するため、ロビー等に同好会の絵画、工芸品、写真等を展示し、活動のPRや参加者の意欲向上を図ります。 ○地域ふれあい事業(センターまつり、ふれあいコンサート、町別対抗男女混合バレーボール大会等)を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みます。	
	基本方向 2	学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりでは、地域活動団体等の日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表等を行うとともに、団体の活性化とPRを図るため、団体が中心となって活動内容に関する住民参加型のイベントを実施します。 ○浜松市と大学との連携事業を通して、大学生が協働センター事業に参画し、大学で学んだ知識と技能を生かす機会の提供と大学の専門性を地域に還元することを推進します。 ○世代間交流や地域コミュニティの活性化に寄与するために考案された南区発祥のオリジナルゲーム「サイコロダーツ」の普及に努めます。	○
			(2) 人材の育成	○地域の人材を活用した講座を実施することや、学習成果活用事業を実施する市民や団体に対して、積極的に協力・支援することにより、地域リーダーや新たな人材の育成を推進します。 ○協働センターまつりや成人式の運営等に小学生や中学生ボランティアを積極的に活用し、地域の生涯学習ボランティア活動を支援するとともに、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成を図ります。 ○生涯学習ボランティアが子供向け工作の研修を受講し、協働センターまつりで「子ども工作教室」や「生涯学習体験教室」を実施します。	

平成30年度事業報告

【 北 】区

区の重点

市民協働による区民主体のまちづくり

○ 地域住民の学習ニーズを的確に捉え、学びの欲求に応えることができる講座・事業を企画します。そして、学びを共有する仲間づくりの場から、地域づくりの場へと発展していくことができるようサポートします。
【大綱との関連】基本方向1-(2)

○ 自らの学習と経験から得た生涯学習の楽しさや喜びを伝えることで、地域住民との交流を図ります。また、地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れた事業を企画します。
【大綱との関連】基本方向2-(1)

浜松市生涯学習推進大綱			主な取り組み	区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1 いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○UD化が遅れている施設において、トイレの洋式化やベビーベッドの取り付けなどを行いました。また、施設の長寿命化を図るため外壁及び屋上防水改修工事を実施しました。 ○地域住民が安全・安心に利用できる施設を維持するために、施設職員による日常点検、業者による定期点検を実施し、不具合のある設備等は早期改修に努めました。	
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○協働センターだよりを発行し、地域への情報発信を行いました。 ○子ども講座の見直しを図り、2～3歳児とその保護者が参加する講座を新たに開催しました。また、子育て世代の生涯学習の機会を増やすため、前年度より託児のある講座の種類、回数を増やして開催しました。(引佐協働センター)	○
		(3) 学習環境の向上	○あいさつを積極的にするよう心掛け、地域住民が訪れやすく気軽に利用できるような雰囲気づくりに努めました。 ○アンケートを実施し利用者ニーズに応える講座を企画しました。 ○講座終了後にサークルとして活動ができるようにサポートし、3団体が新たに結成されました。(三ヶ日協働センター)	
	基本方向2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○北区文化交流祭(細江町地内で開催)、協働センターまつり、生涯学習フェア等において地域住民の学習成果発表の機会を提供しました。 ○協働センターだよりでセンターで活動している団体の紹介や学習成果を掲載し地域住民に周知しました。	○
		(2) 人材の育成	○協働センターまつりを始めとする地域ふれあいフェスタでは、都田中学校、常葉大学、地区社会福祉協議会と連携し、積極的にボランティア活動の場を提供しました。(都田協働センター) ○生涯学習ボランティアとしての資質の向上を図る機会として協働センターまつり等での実践の場を提供しました。(三方原協働センター)	

◆成果・課題

- ◆地域の人材を活用した講座や各種団体等と連携・協力したイベントを多く企画し、地域に根差す充実した内容を多く提供することができた。
- ◆市で開催した講座をきっかけとして、受講者が自主的に学習できるよう既存のサークル(同好会)への入会や新たなサークル(同好会)づくりを支援した。
- ◆地域活動団体の会員の減少・高齢化に伴う、新たな会員の確保・団体の育成。
- ◆新たな受講者の獲得及び受講者層の拡大(若年層や成年層、男性等)を図るために講座内容の見直しや周知の徹底。

平成31年度事業計画

【 北 】区

区		地域性を活かした生涯学習機会の提供		区の重点	
の重点		<p>○生涯学習の拠点として協働センター等の施設を多くの地域住民に利用していただくため、年代に応じた学習ニーズを的確に捉え、幅広い分野の学習機会を提供します。【大綱との関連】基本方向1-(2)</p> <p>○地域の活性化や文化振興のため、地域と協働し、地域づくりに取り組みます。【大綱との関連】基本方向2-(1)</p>			
浜松市生涯学習推進大綱			主な計画	区の重点	
めざす都市像	基本方向	推進項目	<p>○多くの施設で力を入れていく取り組み</p> <p>○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)</p>		
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1	(1) 施設の整備	○点検に基づく不具合の修繕のほか、利用者の要望を聞き取り、より使いやすい施設になるための改修を計画的に行います。		
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	<p>○講座をより手軽に申し込めるよう、メール受付けなどの新たな方法を取り入れていきます。(都田協働センター)</p> <p>○浜松市HPに講座募集の案内を掲載し、PRに努めます。(引佐協働センター、細江協働センター)</p> <p>○託児サービス付きの講座を企画し、小さなお子さまをお持ちの方がより一層受講しやすい環境を整えます。(引佐協働センター)</p>	○	
		(3) 学習環境の向上	<p>○地域の学習拠点として地域のニーズに応じた講座を提供し、利用者の拡大に努めます。</p> <p>○協働センターの掲示板をこれまで以上に活用し、サークルの活性化をサポートします。また、講座終了後に自主的なサークルとなるよう、受講者を支援していきます。(三ヶ日協働センター)</p> <p>○地域ふれあい事業(センターまつり等)の開催を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みます。(都田協働センター、三方原協働センター)</p>		
	基本方向2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	<p>○北区文化交流祭(三ヶ日町地内で開催)、協働センターまつり、生涯学習フェスティバル、文化祭等では、地域活動団体等の日ごろの学習成果を発表する場として、作品展示や芸能発表等を行います。</p> <p>○市と大学との連携事業を通して、大学の専門性を地域に還元するとともに、学生が協働センター事業に参画する環境づくりを推進します。</p>	○	
	学習成果を適切に生かすことのできる	(2) 人材の育成		○協働センターまつりの運営等への参加を多くの団体に呼びかけ、地域リーダー及びボランティア候補の養成を推進します。(都田協働センター、三方原協働センター)	
				○学習成果活用事業を実施する市民や団体を支援し、新たな人材や団体の育成を進めます。	
	仕組みづくり				

平成30年度事業報告

【 浜北 】区

区 の 重 点	夢をはぐくむまちにふさわしい学習機会の充実と地域づくりの推進			
	○ 地域の特徴とニーズに合わせ、講座内容の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 地域との連携を図り、人材を活用した講座を開催し、地域づくりの意識高揚を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1)			
浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1 いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○市民が安全・安心また快適に施設を利用できるように、施設職員による施設の点検を定期的に行い、支障のある箇所や不具合のある箇所の早期発見に努めました。	
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○区内全協働センターによる「 <u>協働センターだより合併号</u> 」を発行し、 <u>高齢者を対象とした生きがい教室、多くの市民から需要のある市民スクール(初級講座)等の学習情報を区内全域に提供しました。</u> ○各地区の小学校の協力により対象全児童に募集チラシを配布し、より多くの子どもが子ども講座に参加できる機会の提供を図りました。	○
		(3) 学習環境の向上	○地域の学習及びコミュニティの拠点として、協働センターまつりやふれあい事業に取り組みました。 ○協働センターを利用する団体の活動を支援し、講座受講者が引き続き自主的に活動できるように同好会等の結成を支援しました。	
	基本方向2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○「 <u>浜松市と大学との連携事業</u> 」に参加し、 <u>大学の専門性を地域に還元するとともに、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを進めました。</u> ○学習成果活用事業を実施し、学習の成果を発揮する場の提供と併せて人材の発掘を図りました。 ○学習成果の発表や展示をする機会として協働センターまつりを開催しました。	○
		(2) 人材の育成	○青少年指導者養成講座の修了者を協働センター事業におけるボランティアの核として積極的な活用を図りました。(まちづくり推進課生涯学習G・中瀬協働センター) ○区内の中学校へ生徒の協働センターまつり運営への参加協力を求め、ボランティア精神の醸成を図りました。 ○協働センターまつり運営に生涯学習ボランティアを活用しました。	
◆成果・課題	◇子供から高齢者まで様々な世代が参加できる各種講座を開催し、地域の教育力の向上や生涯学習の充実を図ることができた。 ◇協働センターまつりの開催により、地域住民や利用者間の交流を深めることができた。 ◆協働センターを利用する団体の活性化 ◆新たな利用者の掘り起こしをするため、講座や協働センターまつりの内容の充実			

平成31年度事業計画

【 浜北 】区

区 の 重 点	夢をはぐくむまちにふさわしい学習機会の充実と地域づくりの推進 ○ 地域の特徴とニーズに合わせ、講座内容の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 地域との連携を図り、人材を活用した講座を開催し、地域づくりの意識高揚を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1)			
	浜松市生涯学習推進大綱 めざす都市像	主な計画 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	区の重点	
「 楽しみ 」や「 生きがい 」が見つかるまち・浜松	基本方向1 いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備 (2) 学習情報と学習機会の充実 (3) 学習環境の向上	○市民が安全・安心また快適に施設を利用できるように、施設職員による施設の点検を定期的に行い、支障のある箇所や不具合のある箇所の早期発見に努めます。 ○区内全協働センターによる「協働センターだより合併号」を発行し、高齢者を対象とした生きがい教室、多くの市民から需要のある市民スクール（初級講座）等の学習情報を区内全域に提供します。 ○各地区の小学校の協力により対象全児童に募集チラシを配布し、より多くの子どもが子ども講座に参加できる機会の提供を図ります。 ○ <u>市民に関心の高い講座を開催し、協働センターまつりの事業内容を充実させ、新たな利用者の拡大を目指します。</u> ○地域の学習及びコミュニティの拠点として、協働センターまつりやふれあい事業に取り組みます。 ○協働センターを利用する団体の活動を支援し、講座受講者が引き続き自主的に活動できるように同好会等の結成を支援します。	○
	基本方向2 学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実 (2) 人材の育成	○「 <u>浜松市と大学との連携事業</u> 」に参加し、 <u>大学の専門性を地域に還元するとともに、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを進めます。</u> ○学習成果活用事業を実施し、学習の成果を発揮する場の提供と併せて人材の発掘を図ります。 ○学習成果の発表や展示をする機会として協働センターまつりを開催します。 ○青少年指導者養成講座の修了者を協働センター事業におけるボランティアの核として積極的な活用を図ります。(まちづくり推進課) ○区内の中学校へ生徒の協働センターまつり運営への参加協力を求め、ボランティア精神の醸成を図ります。(全協働センター) ○協働センターまつり運営に生涯学習ボランティアを活用します。(全協働センター)	○

平成30年度事業報告

【 天 竜 】 区

区 の 重 点	<p>地域資源の活用と実情に即した学習機会を提供し学習意欲の高揚を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年代に応じた学習ニーズに対応するため、学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向1-(2) ○ 学習成果を発揮する機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向2-(1)
------------------	---

浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1 いつでもどこでも、学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○安心して利用できるよう職員による施設の点検を行うとともに、設備保守や清掃業務も定期的に行いました。 ○施設の長寿命化を図るため外壁・設備の劣化調査を行いました。(上阿多古ふれあいセンター、竜川ふれあいセンター、春野文化センター、水窪文化会館、龍山森林文化会館)	○
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○協働・ふれあいセンターだより等を地域に配布し、広報活動を行いました。(天竜地域全センター) ○地域への愛着を育んでもらうため、子どもを対象に地域の自然や歴史についての講座を開催しました。(天竜地域各センター、佐久間歴史と民話の郷会館、水窪文化会館) ○高齢者のニーズに対応した生きがいづくり教室を開催しました。(天竜地域各センター、佐久間地域各ふれあいセンター、春野文化センター、水窪文化会館、龍山森林文化会館)	
		(3) 学習環境の向上	○地域の歴史に関する講座や世代間交流事業など、地域の学習拠点として地域のニーズに適した学習機会を提供しました。(上阿多古ふれあいセンター、二俣協働センター、佐久間地域全ふれあいセンター、春野文化センター、水窪文化会館) ○地域住民の交流の輪を広げるため協働・ふれあいセンターまつりなどのふれあいフェスタ事業を開催しました。(天竜地域全センター、佐久間地域全ふれあいセンター、春野文化センター)	
	基本方向2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○地域の人材を活用し、地域住民が講師を務める講座等を開設しました。(天竜地域全センター、佐久間地域全ふれあいセンター、佐久間歴史と民話の郷会館、春野文化センター、水窪文化会館、龍山森林文化会館) ○学習成果活用事業として、市民団体等から企画提案された講座や公演を実施することで学習成果を発揮する機会を提供しました。(熊ふれあいセンター、二俣協働センター、光明ふれあいセンター、竜川ふれあいセンター、春野文化センター、水窪文化会館) ○利用者団体等の学習成果発表の場として協働・ふれあいセンターまつり等を開催しました。(天竜地域全センター、佐久間地域全ふれあいセンター、春野文化センター) ○地域を再発見する検定会(竜川ふれあいセンター)、地域を題材にしたかるた大会(光明ふれあいセンター)などを開催しました。	○
		(2) 人材の育成	○将来の地域ボランティアの育成のため、協働・ふれあいセンターまつり等の各事業に中学生ボランティアを募り事業を実施しました。(二俣協働センター、竜川ふれあいセンター)	

◆成果	<p>◇地域の人材を活用した講座や、地域の題材・素材を活用した講座・物づくり教室を多く企画し、地域の特色を活かした内容を提供することができた。</p> <p>◇地域の高齢化が進む中、高齢者のニーズに対応した健康講座や健康体操等による生きがいづくり教室を多くのセンター等で開催することができた。</p>
◆課題	<p>◆参加者の高齢化・固定化、地域内講師の高齢化・固定化、地域活動団体の高齢化・減少</p> <p>◆新たな受講者の獲得、受講者層の拡大。</p>

平成31年度事業計画

【 天竜 】区

区 の 重 点	地域資源の活用と実情に即した学習機会を提供し学習意欲の高揚を図ります。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年代に応じた学習ニーズに対応するため、学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 学習成果を発揮する機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1) 		
浜松市生涯学習推進大綱		主な計画	
めざす 都市像	基本方向	推進項目	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)
「 楽しみ 」や「 生きがい 」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して利用できるよう職員による施設の点検を行うとともに、設備保守や清掃業務も定期的実施します。 ○昨年度実施した設備の劣化調査の結果をもとに、受変電設備の更新工事を行います。(上阿多古ふれあいセンター) ○昨年度実施した外壁の劣化調査の結果をもとに、外壁の修繕工事を行います。(竜川ふれあいセンター)
	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○協働・ふれあいセンターだより等を地域に配布し、広報活動を行います。(天竜地域全センター) ○地域への愛着を育んでもらうため、<u>子どもを対象に地域を題材にした講座を開催します。</u>(天竜地域各センター、佐久間地域各センター、佐久間歴史と民話の郷会館、水窪文化会館など) ○<u>高齢者のニーズをとらえたアクティブ・シニア講座を開催します。</u>(天竜地域各センター、佐久間地域各ふれあいセンターなど) ○<u>幅広い世代が参加しやすいヒューマンセミナーや地域文化セミナーを開催します。</u>
		(3) 学習環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の歴史に関する講座や世代間交流事業など、地域の学習拠点として地域のニーズに適した学習機会を提供します。(上阿多古ふれあいセンター、二俣協働センター、佐久間地域全ふれあいセンターなど) ○地域住民の交流の輪を広げるため協働・ふれあいセンターまつりなどのふれあいフェスタ事業を開催します。(天竜地域全センター、佐久間地域全ふれあいセンター、春野文化センター)
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人材を活用し、<u>地域住民が講師を務める講座等を開催します。</u>(天竜地域全センター、佐久間地域全ふれあいセンター、佐久間歴史と民話の郷会館、春野文化センター、水窪文化会館、龍山森林文化会館) ○利用者団体等の学習成果発表の場として協働・ふれあいセンターまつり等を開催します。(天竜地域全センター、佐久間地域全ふれあいセンター、春野文化センター) ○市民団体等から企画提案された講座や公演を実施することで学習成果を発揮する機会を提供します。 ○地域を再発見する検定会(竜川ふれあいセンター)、地域を題材にしたかるた大会(光明ふれあいセンター)などを開催します。
仕組みづくり	(2) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の地域ボランティアの育成のため、<u>協働・ふれあいセンターまつり等の各事業に中学生ボランティアを募り事業を実施します。</u>(二俣協働センター、竜川ふれあいセンター) ○子どもを対象にした講座を開催し、<u>未来の人材育成を図ります。</u>(天竜地域各センター、佐久間地域各センター、佐久間歴史と民話の郷会館、水窪文化会館など) 	